

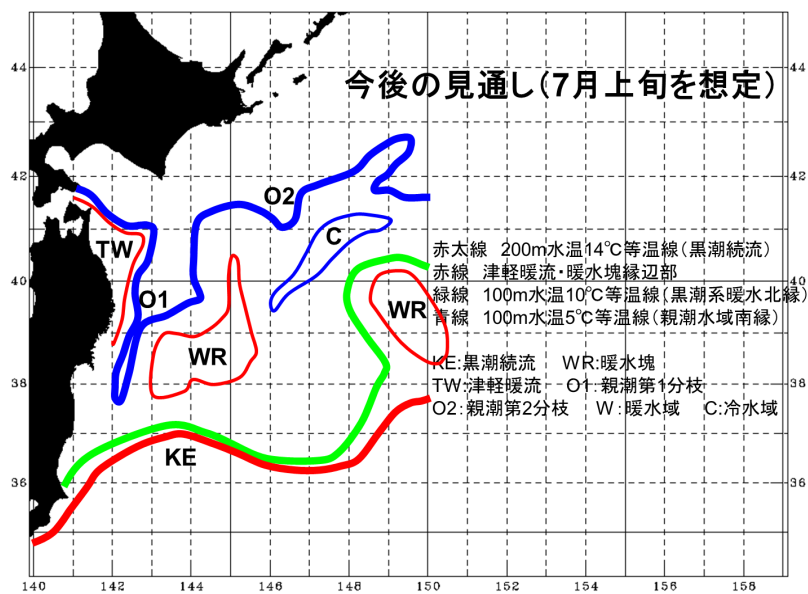


2022年度 第2回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(2022年6月下旬~2022年7月)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置はやや北偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しは極めて南偏で推移する。
- ・ 下北半島沖の暖水塊は消滅し、久慈沖の暖水塊は三陸沖の暖水塊に取り込まれる。三陸はるか沖の暖水塊は停滞する。



問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
担当：企画調整部門（横浜） 上原
海洋環境部（釧路） 川端、東屋
電話：0154-91-9136、ファックス：0154-91-9355
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease>

2022年度 第2回 東北海区海況予報

《今後の見通し（2022年6月下旬～2022年7月）》

近海の黒潮続流の北限位置はやや北偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは極めて南偏で推移する。下北半島沖の暖水塊は消滅し、久慈沖の暖水塊は三陸沖の暖水塊に取り込まれる。三陸はるか沖の暖水塊は停滞する。八戸はるか沖に冷水域が形成される。

《海況の経過（2022年4月～2022年5月下旬）の特徴》

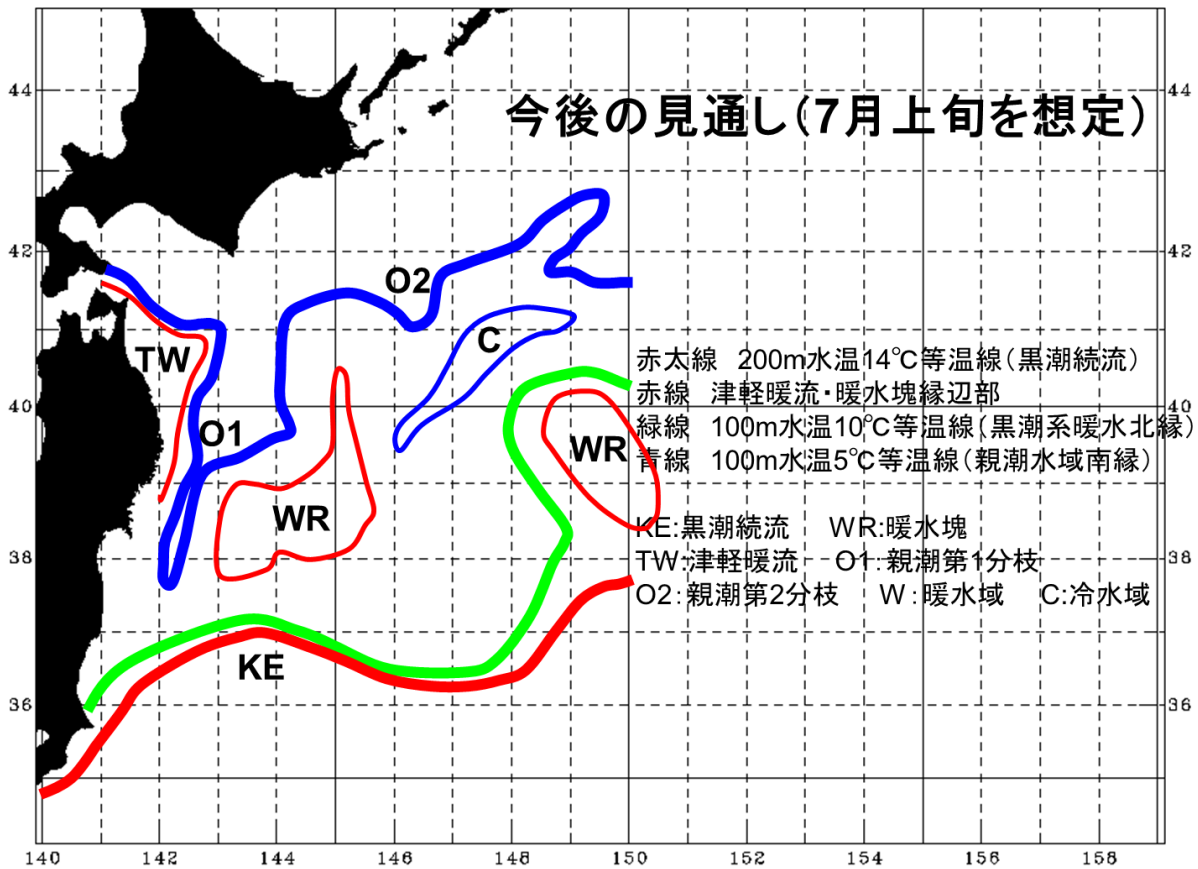
近海の黒潮続流の北限位置はやや北偏で推移した。親潮第1分枝の張り出しはやや南偏～かなり南偏で推移した。下北半島沖の暖水塊は停滞し、久慈沖、三陸沖、三陸はるか沖に暖水塊が形成された。

《現況（2022年6月上旬）の特徴》

近海の黒潮続流の北限位置はやや北偏、親潮第1分枝の張り出しは極めて南偏である。暖水塊が下北半島沖、久慈沖、三陸沖、三陸はるか沖にある。

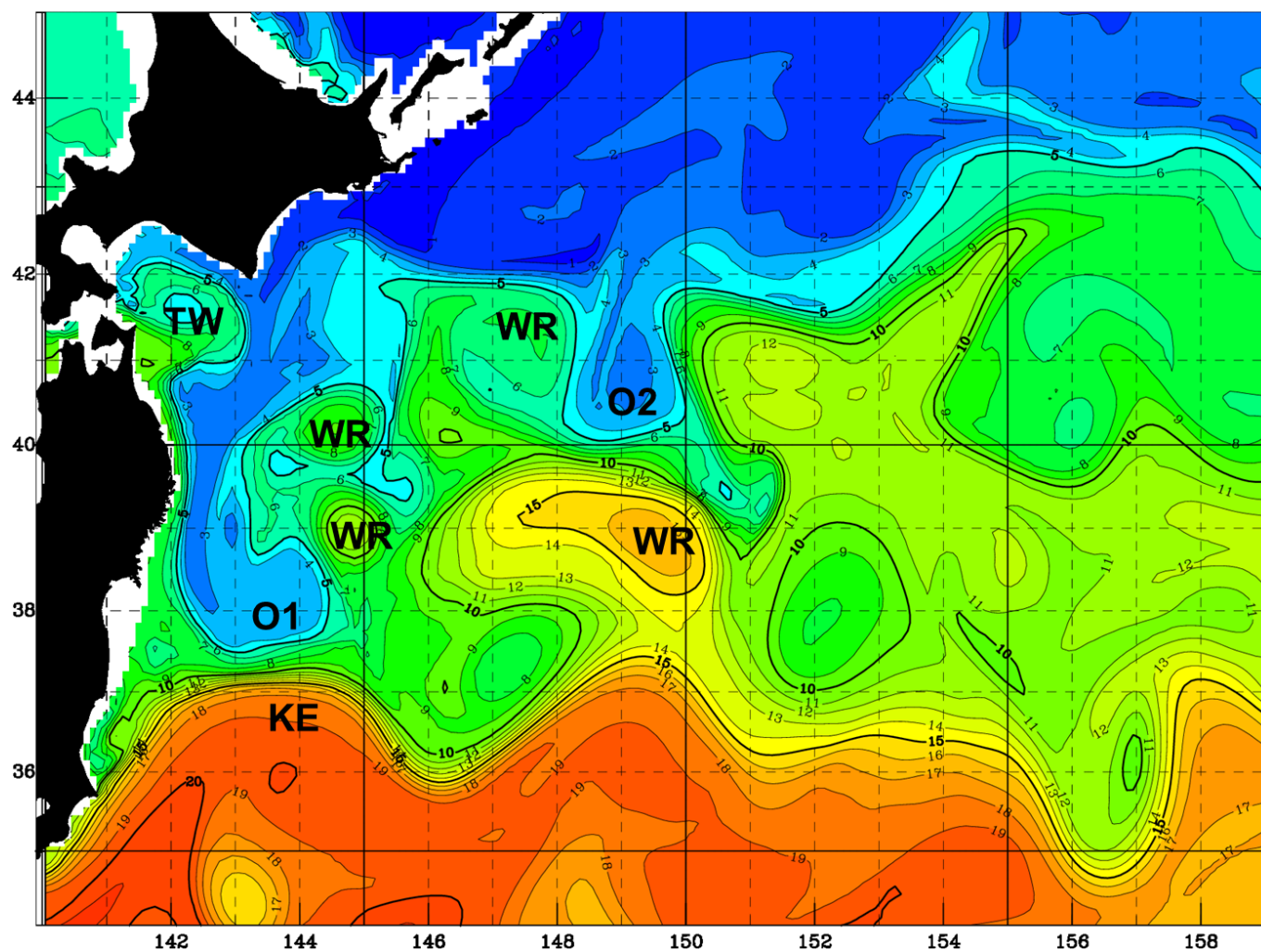
（注）この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2022年3月より運用を開始したFRA-ROMS II システムを用いた。FRA-ROMS II は、我が国周辺海域の海況経過を再解析し、2ヶ月先までの海況を予測する海況予測システムである。

7月上旬予測水温分布図



6月上旬現況水温分布図（100m深）

TEMPERATURE AT 100m DATE: 2022/0601 - 2022/0610



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊、Cが冷水域を表している。

参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p> <p>茨城県水産試験場</p>	<p>(取りまとめ機関)</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p>
--	--